

京都スタジアム新築工事（帯状映像設備工事） 技術提案書作成要領

1 工事内容

(1) 工事対象設備は、次のとおりとする。

- ア 表示装置
- イ 送出装置

(2) 工事対象設備の詳細は、次の図書に示すものとする。

特記仕様書（参加希望者は担当部署で配布するほか、京都府ホームページ入札・プロポーザル情報（<http://www.pref.kyoto.jp/shinchaku/nyusatsu/index.html>）からダウンロードできる。）

2 技術提案を求める内容

(1) 帯状映像設備の概要（任意様式）

- ・機器の名称、数量、性能等導入する機器の概要を説明すること。
- ・必要に応じて、別表や図面、既存資料、カタログ等を添付すること。

(2) チェックリスト（別記様式1）

- ・提案する仕様が、特記仕様書にて示す条件と同等以上の機能を有することがわかるよう具体的に記載すること。
- ・記入欄が不足する場合は、適宜行の挿入又は別表として記入すること。
- ・既存資料（カタログ・図面等）にて代えることも可能とする。ただし、その際は、チェックリストに引用資料の種別及び該当部（項目・ページ等）を記載するとともに、引用資料該当部にマーカーをする等引用部を特定できるよう記入すること。

(3) 企画提案書（別記様式2）

評価項目	提案方法
表示装置に関する提案	・京都府が示した仕様書に対して優れていると考える内容とその効果について具体的に提案すること。
送出装置に関する提案	
表示内容・方法、運用方法に関する提案	
維持管理に関する提案	・以下の仕様を満たした上で、具体的な内容について提案すること。 ① 機器の無償修理保証期間：1年以上 ② 部品のストック期間：10年以上 ③ 設備全体としての耐用年数（部品の交換により設備全体を稼働させることができる期間）：10年以上 ④ メンテナンス部門の拠点から当該施設への到着予定時間：4時間以内

	⑤ 故障時の受付対応時間：24 時間 ⑥ その他
ライフサイクルコスト に関する提案 (様式任意)	・維持管理の提案に則して、保守点検費用及び標準的な機器の交換費用を含めた10年間の維持管理費用について提案すること。

※価格提案書については、表示装置、送出装置、表示内容・方法、運用方法の提案を踏まえた帯状映像設備工事の総額について提案すること。

3 技術提案書の提出部数

提出部数 4 部 (正 1 部、写し 3 部)